新星和不動産
Ever green エバーグリーン
Vol.51　平成25年2月1日発行
住まいの相談室

「第2回 日生ニュータウン フォトコンテスト」グランプリ
「あの雲、誰が描いたの～？」～古宮公園にて～　吉田様 作

はじめに　Introduction

みなさんこんにちは、EG編集長の濱﨑です。

当社は今年60周年という節目の年を迎えました。首都圏・近畿圏を中心に合計6万戸の住宅を供給。これからも私どもが供給した住まいを“リフォーム”という視点で取り組みたいと思います。どうぞよろしくお願いします。（濱﨑）

お知らせ　Information

新星和不動産『60 周年記念セール』開催!

現在、「ゆめづくり工房オープン記念セール」の開催中です。また、今月中旬からは、「60周年記念セール」の開催を予定、60にこだわったセールとなります。是非お気軽に「ゆめづくり工房」へお越し下さい。（小笹）

リフォームチャレンジ体験談

～好きな風と光だけを取り込む庭作り～

今回はお庭をプライベート空間へとリフォームした、伏見台S様のご紹介です。

（左）以前の庭。和風の庭でした。緑がいっぱいですが、手入れは大変。
（右）残した木は、以前と比べ、アクセントとなっています。

S様のお庭は、和風のお庭でした。たくさんの植木があり、庭樹の手入れや、雑草の草抜きも負担になっていました。同様に、お隣との境に植えられた生垣も手入れが大変でした。

もう一つの悩みは、陽射し。夏の陽射しは暑くて日陰を作りたい、でも冬の陽射しはできる限り取り入れたい…。また、西風が庭を通り抜けるのにも、少し不満がありました。

エクステリアには色々な手法があり、S様と営業を担当した柏木は打合せを重ね、様々な提案をさせて頂きました。

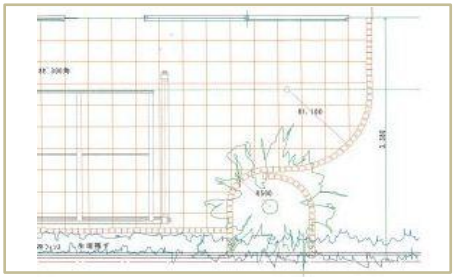
最終的に決め手となったのは、光と風を取り入れたり、それを遮ったりと、調整の可能な『プラスG』という商品でした。パネルの高さや色、デザインの幅も広く、思い通りに設計できる商品です。

さらに、雑草の草抜きをなくすために、地面は大判のタイルを張ることにしました。テラコッタの風合いの床は優しく柔らかい印象で、タイルにありがちな冷たい印象はありません。

少し残した木々や花壇とタイルの取り合いには、ピンコロ石でアクセントを取りました。タイル部分とピンコロ石の隙間は、排水溝となっています。

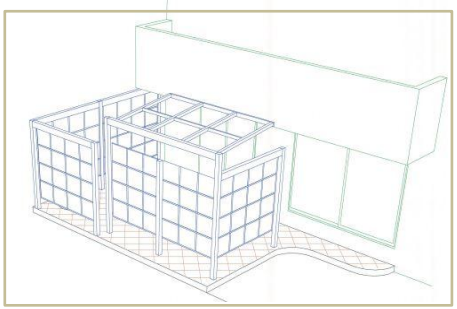
緑もこのように演出すると、お庭のステキなアクセントとなっていますね。

庭の奥から道路側を見る。リビング前を囲うようにパネルを配置したので、視線を遮った、プライベートな空間としても楽しめるようになっています。



（左）平面図。広い庭に少し木々を残しながら、パネルを配置。タイルの割り付けもキチンと決めて、ピンコロ石で区切りをつけているのがわかります。

（右）外観パース。平面図ではわからない建物と『プラスG』との取り合いや、高さがよくわかりますね。複雑な配置ですが『プラスG』なら、思い通りの設計をすることができます。



さて、この新しいお庭はどのように楽しみましょう？

例えば、春は鉢植えを置き、花の香りを楽しみながらティータイム。ゆったりとした時間が流れます。おいしいサンドイッチと紅茶があるといいですね～。夏は思い切って、デッキチェアーを置いて、昼寝はいかがですか？背の高い、観葉植物をいくつか置くとリゾート気分を味わえますね。秋は、ちょっと冷たくなった空気の中で、お気に入りの本を読みながら、コーヒーでも飲みましょうか。少し見え隠れする木々の紅葉を楽しめそうです。冬は、ツリーを飾って、電飾をして、暖かい部屋から眺めることができます。夜の暖かい光は、パネルを通して道歩く人にも優しいメッセージとなりそうです。

とても広いですが、きちんと目隠しができているので、気兼ねなく、楽しめる庭となりました。今までは眺めるだけの庭でしたが、このように工夫しながら生活を楽しめる、まったく違った庭となったのです。

『プラスG』は、敷地のさまざまな場所に設置できるエクステリア構成パーツです。

とてもうらやましいリフォームでした。S様、ありがとうございました！

ゆめづくり工房では『プラスG』を一部展示しています。どうぞ、ご自身の目で確かめてご検討下さい。（久保田）

家スタディ Study of the house

寒波が厳しい時期、水道管の凍結にご注意！

2月は寒さが本格化。室内を暖房していると、結露が発生するケースがありますね。そのときは、水分をこまめにお掃除しましょう。またこの時期は水道管が凍結する恐れがあります。今回は防止策についてご紹介します。ぜひお試しください。

●寒波の天気予報がでたら、水を出して予防措置

ごく少量の水で効果が期待

給水管の凍結を防止する一番の方法は蛇口を少し緩めて、少量の水を出すことです。水が水道管を流れることで、管内の凍結を防ぐ効果があります。ここで注意するのは、お湯・水どちらの水を出しておくか？ということです。凍結をよく起こしやすい場所は外部の給湯器廻り。そのため、お湯側の蛇口（混合栓ならレバーをお湯側に）をひねって水を出しておきます。翌日が寒波の天気予報が出たら、夜寝る前に、水を流す習慣を身に付けましょう。

給湯器廻りは複雑。不明な場合は一報を

●給湯器の結露防止機能を賢く活用しましょう

大抵の給湯器には結露を防止する機能が装備されています。しかも、電源を入れておくだけで、自動で防止機能が作動します。主電源を OFF にしたり、給湯器本体の電源コードを外さないようにしてください。また、長期に留守にするなど、給湯器の電源を OFF にする場合は、器具内の水抜きが必要です。詳しくは器具の取扱説明書をご確認ください。

●外部の給水管を保護する方法もあります

凍結で一番頻度が多いのは、給湯器と接続している屋外に露出している水道管。北側の冷たい風雨にさらされる位置に設置されていることが多いので要注意。通常は保温材で管を巻いていますが、寒波の発生する前夜に布や毛布、段ボールでおおうことも効果的です軽い凍結ならぬるま湯で直る場合があります。熱湯は温度によって破裂する危険性があるのででご注意を。（濱﨑）

保温材を二重にまくことも

イベント日記 Event diary

フォトコンテスト作品展　開催！！

『第３回日生ニュータウンフォトコンテスト』の募集が昨年12月に締め切りとなり、皆さんからたくさんの写真が集まりました。その数168作品。ご応募いただいた作品は、我が街日生ニュータウンの一コマが見事に切り取られた素晴らしい写真ばかりでした。本当にたくさんのご応募ありがとうございました。

ご応募いただいた全作品は18日から4日間日生中央サピエセンタープラザにて展示させていただき、連日たくさんの方で賑わいました。感嘆の声があちらこちらから聞こえていました。

20日には特に優秀な作品を撮られた方をお迎えして、表彰式を開催いたしました。また、応募者を対象に各自の写真について、篠原審査委員長からご講評していただきました。今回のフォトコンテストは盛大なうちに終えることができました。誠にありがとうございました。

今回ご応募いただいた写真は、いろいろな場所・場面でお披露目させていただきますので、どうぞお楽しみに。（森野）

グランプリ作品（左上）をはじめ、第3回日生ニュータウンフォトコンテスト優秀作品の一部。

今月のトピック Topic of this month

『ゆめづくり工房』オープン!!

先月、12･13･14日の 3 日間、『ゆめづくり工房』のオープンイベントを開催いたしました。たくさんのご来場、ありがとうございました。工房内の見学はもちろん、ワークショップにもたくさんのお客様にご参加いただきました。今月は切子ガラスのワークショップですよ！

まだお越しいただけていない方、どうぞお越し下さいね～♪お待ちしています♪（久保田）

お客様Voice Customer voice

◆御社で自宅を建てて貰い、12年が過ぎます。これまで色々お世話になり、困ったこと、嫌なことなく来ております。これからは、種々リフォームすることがあるでしょうが、よろしくお願いします。【美山台　W 様】

～編集後記～

●今年の陶芸は大作に挑戦。大きい器はテクニックが重要です。基本を忠実に取り組みます。（濱﨑）●『ゆめづくり工房』に佇む犬の名を『ぽんた』と命名しました。かわいいですよ♪ ぽんたの毎日はブログで！（久保田）●『ゆめづくり工房』オープン、フォトコンテスト開催と年明けからず～っと、走り続けました。少しゆっくりできるかな。ぽんたと散歩でも行こうかな。（森野）

新星和不動産㈱　エバーグリーン編集局
猪名川町伏見台１丁目 1-74　TEL072−766−4525
◆リフォームのご相談は
・日生ﾆｭｰﾀｳﾝ住まいの相談室　TEL072−766−5013
・鈴蘭台住まいの相談室　TEL078−593−7072

エバーグリーン　日生　検索